



鹿島市立 能古見小学校 学校だより No.39

ともに

令和3年2月3日発行 校長:北村征一郎

能古見大好き♡
共生きチーム

新たな時代を切り拓き
共に生き抜く児童の育成

～かしこく・正しく・たくましく～

～ 志・感謝・希望を共有「4年生・2分の1成人式」(^_^) ～

「10歳の節目を迎えた4年生の心身の育ちに目を向け、その成長をともに喜び合う機会を持つことにより、一人ひとりの自立を促し、自己肯定感を高め、学校と家庭が力を合せて、今後のよりよい成長につなげることを目的として、「2分の1成人式」を学校行事として開催しました。数字のゴロ合わせもよく、2月1日の開催です。当日は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、他学年の授業参観は、残念ながら中止とさせていただきましたが、この2分の1成人式は、会場を体育館にする等の対策をとって開催しました。



4年生は、担任の山上陽子先生の指導の下、これからに向けた志、これまでの感謝、今後の希望等を、一人ひとりがその決意を堂々と発表しました。4年生一人ひとりの成長を実感できる素敵な時間となり、とても嬉しく思います(^_^)。お忙しい中に御参観いただいた4年生保護者の皆様もありがとうございました。マチコミで連絡しておりますが、鹿島ケーブルテレビにて放映中です。

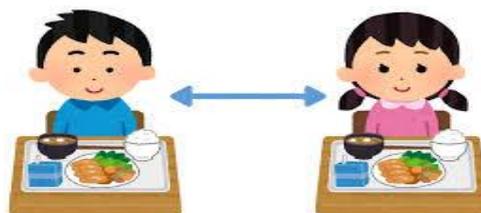


「給食週間」で 給食時の正しい習慣を 再確認・再指導

25日(月)から1週間、全校で取り組みました。食事中はマスクをはずすことから、飲食を介しての新型コロナウイルスへの飛沫感染リスクが高いと言われております。そこで、給食委員会の企画・運営により、以下の取組とその振り返り(評価)をして、今一度、取組の引き締めと強化を図りました。実態把握と3学期の能古見っ子のテーマである「感謝」の取組も計画しています。

【給食時間】

- ① 準備 …… すばやく、無言で
- ② 食事中 …… 無言で、時間内に
- ③ 片付け …… 食器をきれいにし返す、残菜0



できるだけ距離をとり、会話をしない

【その他】

- 給食アンケート（児童の実態を把握し、今後の給食指導に生かす）
- 給食センターの皆さんへの手紙（いつもお世話になっている感謝の気持ちを伝える）

～ 地震対策の「避難訓練」を工夫しました ～

「地震発生の緊急時において、安全で迅速な避難ができるようにするとともに、日頃の防災意識を高めること」を目的として、22日（金）に全校一斉に実施しました。訓練にあたっては、できるだけ教育効果が高まるように「事前指導⇒避難行動⇒事後指導」のサンドイッチ型の指導方法をとっています。電子黒板（ICT）による実際の地震発生時の動画視聴、地震発生時に特に注意すべき内容のキーワードや穴埋め等の具体的指導を通して、地震の本当の怖さを見童が感じ取り、大切な命を守るため、当事者意識をもって正しく備え・対処できるよう工夫して実施しました。



避難行動では、どの学年も「**お**さない・**か**けない・**し**やべらない・**も**どらない」をしっかり守ってきちんと訓練に参加し、事前と事後の指導を通して、さらに気づきを深めることができました。

1・2年生の育ちを実感(^_^) 笑顔いっぱい「冬野菜収穫」

1年生と2年生を見守っていて、4月からの大きな成長を感じています。1年担任の松尾純子先生と2年担任の松田勇次先生の指導のもと、学習や生活のいろいろな場面でよき姿を見せてくれています。あいさつや掃除等もとても上手で嬉しく思います(^_^)。

そんな1年生と2年生が、学級園で育てた冬野菜を楽しく収穫しました。これまで観察しながら、水やり等の世話をがんばってきた1・2年生です。大根等を引き抜く時のワクワク感とともに収穫への思い入れも強く、収穫した大根を家族と一緒に食べようと、みんな喜んで持ち帰りました。いつもの野菜とは一味も二味も違ったことでしょう。

例年、学校でおでん等に調理して食べ、収穫を喜び合うこともありましたが、**本年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、全校的に調理は自粛**しています。5・6年生の家庭科の調理実習については、事前指導や学び方を工夫して各家庭で調理し、事後の学習につなげる指導方法をとって対応しているところです。コロナ禍の中、御家庭でのこのような御協力にも改めて感謝申し上げます。



毎日の検温等の御協力、ありがとうございます。県内の新型コロナウイルス感染状況は、減少傾向にあるものの、まだ予断を許さない状況です。毎日のお子さんと御家族の体調の把握・管理等について、今後ともよろしく願いいたします。